

舗装の個別施設計画



平成29年5月策定
(令和6年4月改訂)
大分県中津市

目 次

1. 舗装の現状と課題

- 1.1 管理道路の現状
- 1.2 舗装修繕予算の現状
- 1.3 舗装の現状

2. 舗装の維持管理の基本的な考え方

- 2.1 舗装管理の基本方針
- 2.2 管理道路の分類(グループ分け)
- 2.3 管理基準
- 2.4 点検方法・点検頻度
- 2.5 使用目標年数(分類Bの道路)

3. 計画期間

- 3.1 計画期間

4. 対策の優先順位(補修計画の方針)

5. 舗装の状態、対策内容、実施期間

- 5.1 診断結果
- 5.2 対策内容と実施時期

1. 舗装の現状と課題

1.1 管理道路の現状

(1) 管理延長と舗装延長

道路区分	管理延長	舗装延長		舗装率
		A s 舗装	C o 舗装	
1 級市町村道	140.63 km	136.89 km	1.26 km	98.24 %
2 級市町村道	123.19 km	115.52 km	4.06 km	97.07 %
その他市町村道	632.23 km	540.05 km	42.48 km	92.14 %
計	896.05 km	792.46 km	47.80 km	93.77 %

「令和4年度 道路台帳」より

(2) 平均交通量

道路区分	平均交通量	うち大型車	
		平均交通量	混入率
管理道路全体	174 台/日	15 台/日	8.6 %
うち1 級市町村道	970 台/日	75 台/日	7.7 %
うち2 級市町村道	390 台/日	29 台/日	7.4 %
うちその他市町村道	120 台/日	11 台/日	9.2 %

1.2 舗装修繕予算の現状

予算年度	道路予算(工事)	うち舗装修繕予算	舗装修繕予算の割合
平成17年度	769,201 千円	48,477 千円	6.3 %
平成18年度	587,313 千円	40,408 千円	6.9 %
平成19年度	894,544 千円	46,950 千円	5.2 %
平成20年度	819,666 千円	41,609 千円	5.1 %
平成21年度	838,780 千円	46,908 千円	5.6 %
平成22年度	648,854 千円	44,760 千円	6.9 %
平成23年度	557,859 千円	45,494 千円	8.2 %
平成24年度	556,426 千円	46,940 千円	8.4 %
平成25年度	825,063 千円	107,874 千円	13.1 %
平成26年度	833,389 千円	135,466 千円	16.3 %
平成27年度	757,814 千円	149,060 千円	19.7 %
平成28年度	622,932 千円	109,179 千円	17.5 %
平成29年度	580,597 千円	132,345 千円	22.8 %
平成30年度	565,403 千円	238,453 千円	42.2 %
令和元年度	699,767 千円	229,015 千円	32.7 %
令和2年度	891,656 千円	316,742 千円	35.5 %
令和3年度	1,000,541 千円	354,552 千円	35.4 %
令和4年度	750,343 千円	273,031 千円	36.4 %
令和5年度	708,534 千円	300,016 千円	42.3 %

1.3 舗装の現状

・令和3年度に路面性状調査した25 kmの破損の現状は以下のとおり

ひび割れ率	20%以下	20%~40%	40%以上
	64.5%	22.9%	12.6%

わだち掘れ深さ	20mm以下	20mm~40mm	40mm以上
	99.6%	0.4%	0.0%

IRI	0mm~3mm/m	3mm~8mm/m	8mm/m以上
	14.1%	82.2%	3.7%

2. 舗装の維持管理の基本的な考え方

2.1 舗装管理の基本方針

舗装の個別施設計画の策定にあたっては、診断結果を踏まえた適切な措置を行うことで、道路舗装の長寿命化や舗装の維持修繕費のライフサイクルコスト削減を目指す。

2.2 管理道路の分類(グループ分け)

- ・大型車交通量等を踏まえ分類

分類	特性
分類Aの道路	高規格幹線道路など求められるサービス水準が高い道路
分類Bの道路	大型車交通量が多い道路、舗装が早期劣化する道路
分類Cの道路	大型車交通量が少ない道路、舗装の劣化が緩やかな道路
分類Dの道路	生活道路、舗装の劣化が極めて遅い道路

参照：国土交通省道路局 舗装点検要領(平成28年10月) P6

道路分類のイメージ

特性	分類	主な道路※1 (イメージ)
<ul style="list-style-type: none"> ・高規格幹線道路 等 (光速走行など求められるサービス水準が高い道路) 	A	高速道路
<ul style="list-style-type: none"> ・損傷の進行が早い道路 等 (例えば、大型交通量が多い道路) 	B	直轄国道
<ul style="list-style-type: none"> ・損傷の進行が緩やかな道路 等 (例えば、大型車交通量が少ない道路) 	C	政令市一般市道、補助国道・県道
<ul style="list-style-type: none"> ・生活道路 等 (損傷の進行が極めて遅く占用工事等の影響が無ければ長寿命) 	D	市町村道

2.3 管理基準

ひび割れ率	わだち掘れ量	IRI
20~40%	20~40mm	8mm/m

参照：国土交通省道路局 舗装点検要領(平成28年10月) P10-16

2.4 点検方法・点検頻度

分類	点検方法	点検頻度
分類Bの道路	目視点検・路面性状調査等	5年に一度
分類Cの道路	目視点検・路面性状調査等	10年に一度
分類Dの道路	巡視の機会を通じた路面状況把握	

参照：国土交通省道路局 舗装点検要領(平成28年10月) P9

2.5 使用目標年数(分類Bの道路)

- ・過去の修繕実績を踏まえ、分類Bの道路は15年とする。

参照：国土交通省道路局 舗装点検要領(平成28年10月) P32

3. 計画期間

3.1 計画期間

- ・当該個別施設計画の計画期間は、平成29年度から令和8年度の10年間で対策費用は8億円と推計。なお、定期点検結果をふまえ、計画内容は適宜見直しを行う。

参照：大分県土木建築部道路保全課 大分県舗装長寿命化計画(平成27年10月) P19

4. 対策の優先順位(補修計画の方針)

- ・舗装損傷状況、路線の重要性、交通量等を考慮し補修の優先順位を決定する。

区 分		大型車交通(台/日・方向)		
		250台以上 N7~N5交通	250~40台 N4~N3交通	40台未満 N2~N1交通
総交通量 (台/日)	1,000台以上	分類B 優先1	分類B 優先3	
	500台以上 1,000台未満	分類B 優先2	分類C 優先4	分類C 優先6
	500台未満		分類C 優先5	分類D 優先7

参照：大分県土木建築部道路保全課 大分県舗装長寿命化計画(平成27年10月) P30

5. 舗装の状態、対策内容、実施時期

5.1 診断結果

- ・平成28年度及び令和元・2・4・5年度に点検した18.5kmの診断結果は以下のとおり

分 類	区分Ⅰ	区分Ⅱ	区分Ⅲ	区分Ⅲ	
				Ⅲ-1	Ⅲ-2
分類Bの道路	km	km	18.5 km	10.9 km	7.6 km
分類Cの道路	km	km	4.8 km	1.9 km	2.9 km
分類Dの道路	km	km	0.6 km	0.5 km	0.1 km

参照：国土交通省道路局 舗装点検要領(平成28年10月) P11

5.2 対策内容と実施時期

- ・別図のとおり(区間、箇所毎の図表により明示)